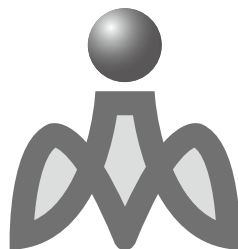


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和2年7月～9月実績〕  
〔令和2年10月～12月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| I 調 査 要 領 .....     | 1  |
| II 景 況              |    |
| 1. 産業全体の業況概観 .....  | 2  |
| 2. 製造業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 3  |
| (2) 主な項目で見る業況 ..... | 3  |
| 3. 建設業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 6  |
| (2) 主な項目で見る業況 ..... | 6  |
| 4. 小売業の動向           |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 9  |
| (2) 主な項目で見る業況 ..... | 9  |
| 5. サービス業の動向         |    |
| (1) 景 況 概 観 .....   | 12 |
| (2) 主な項目で見る業況 ..... | 12 |



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第2四半期 令和2年7月～9月期 「調査時点：令和2年9月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

| 商工会名      | 製 造 業 | 建 設 業 | 小 売 業 | サ ー ビ ス 業 | 計   |
|-----------|-------|-------|-------|-----------|-----|
| 都 留 市     | 3     | 2     | 3     | 4         | 12  |
| 山 梨 市     | 1     | 2     | 2     | 3         | 8   |
| 大 月 市     | 2     | 1     | 3     | 2         | 8   |
| 韮 崎 市     | 2     | 2     | 1     | 2         | 7   |
| 南アルプス市    | 3     | 2     | 4     | 6         | 15  |
| 北 杜 市     | 4     | 2     | 5     | 4         | 15  |
| 甲 斐 市     | 4     | 3     | 5     | 2         | 14  |
| 笛 吹 市     | 3     | 2     | 4     | 6         | 15  |
| 上 野 原 市   | 2     | 1     | 2     | 2         | 7   |
| 甲 州 市     | 3     | 1     | 2     | 3         | 9   |
| 中 央 市     | 2     | 1     | 2     | 1         | 6   |
| 市 川 三 郷 町 | 2     | 1     | 1     | 2         | 6   |
| 身 延 町     | 1     | 1     | 2     | 2         | 6   |
| 南 部 町     | 1     | 0     | 1     | 1         | 3   |
| 富 士 川 町   | 1     | 1     | 1     | 2         | 5   |
| 昭 和 町     | 1     | 1     | 3     | 3         | 8   |
| 西 桂 町     | 0     | 0     | 1     | 1         | 2   |
| 南 都 留 中 部 | 1     | 1     | 2     | 2         | 6   |
| 河 口 湖     | 1     | 1     | 6     | 5         | 13  |
| 計         | 37    | 25    | 50    | 53        | 165 |

### 5. そ の 他

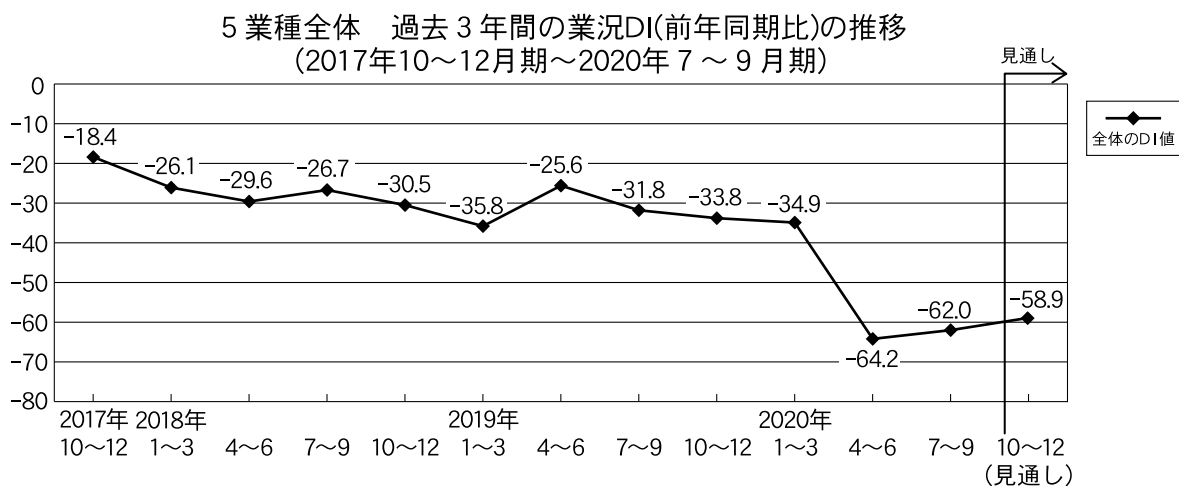
本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断DI、及び、産業別の業況判断DIについてみる。

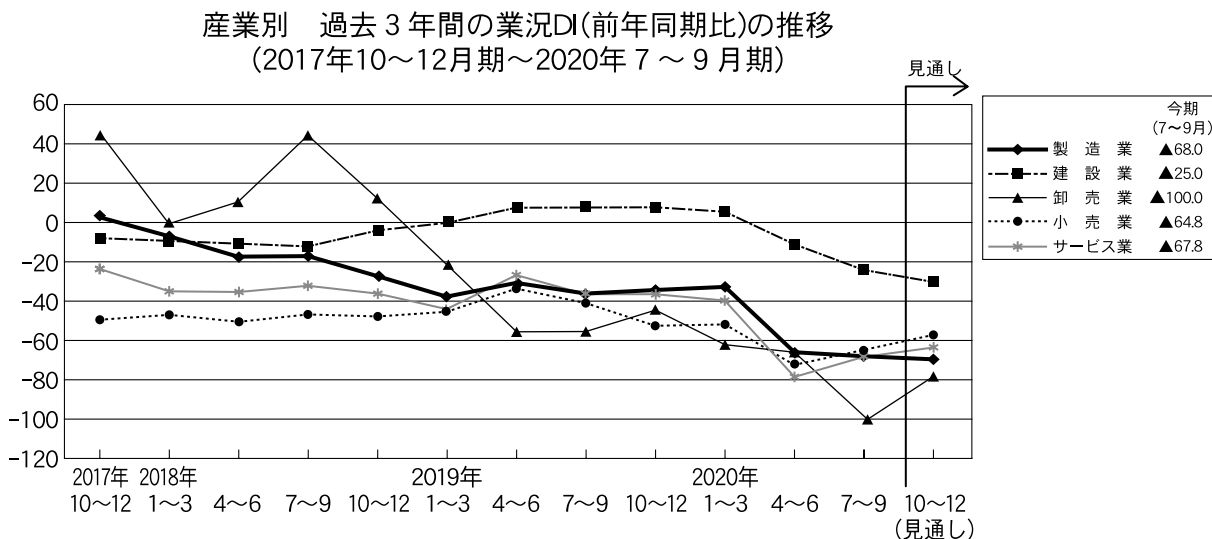
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断DIである。今期の業況判断DIは、▲62.0と依然厳しい数値ではあるが、前期比+2.2ポイントの改善を示している。来期についても▲58.9へと若干ながら改善する見通しである。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断DIである。

製造業が▲68.0と前期比で▲1.8ポイント、建設業が▲25.0と前期比で▲12.5ポイント、卸売業が▲100.0と前期比で▲33.3ポイントの悪化となり、一方、小売業が▲64.8と前期比で+8.5ポイント、サービス業が▲67.8と前期比で+11.7ポイントの改善となっている。

来期は、製造業がほぼ横ばい、建設業が悪化の見通しであるが、卸売業、小売業、サービス業は改善の見通しとなっている。



**【注記】** 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの123企業を含めた288サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況DIについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

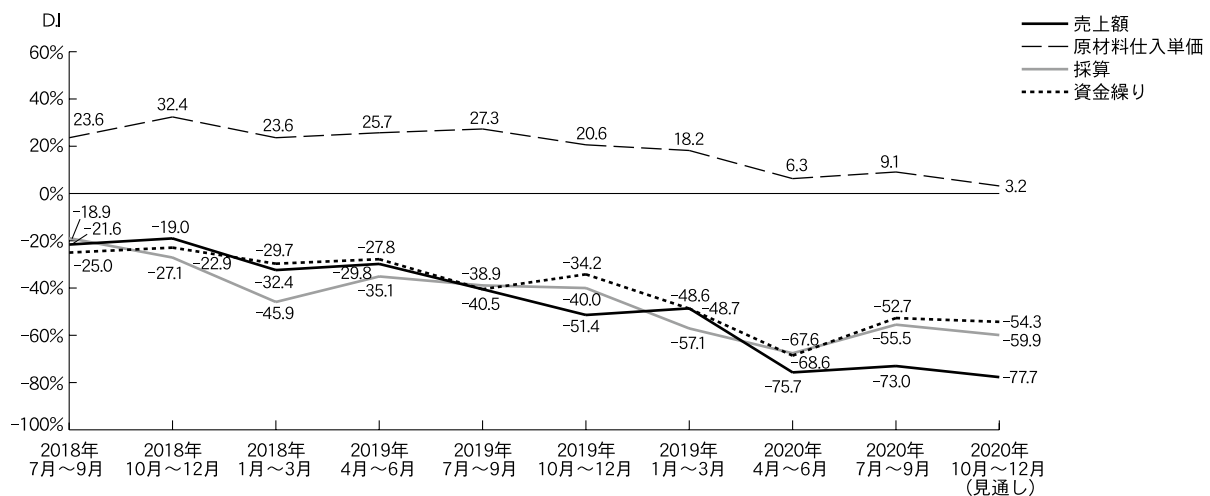
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲73.0と前期比で2.7ポイント僅かに改善したものの、来期は▲77.7とまた悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期は9.1と前期比で2.8ポイント上昇（悪化）したものの、来期は3.2と改善する見通し。採算D Iは、今期は▲55.5と前期比で12.1ポイント改善したものの、来期は▲59.9と悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期は▲52.7と前期比で15.9ポイント改善したものの、来期は▲54.3と悪化の見通しである。

今期は原材料仕入単価D I以外の全D Iが改善したものの、来期は原材料仕入単価D I以外の全D Iが悪化の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目でみる業況

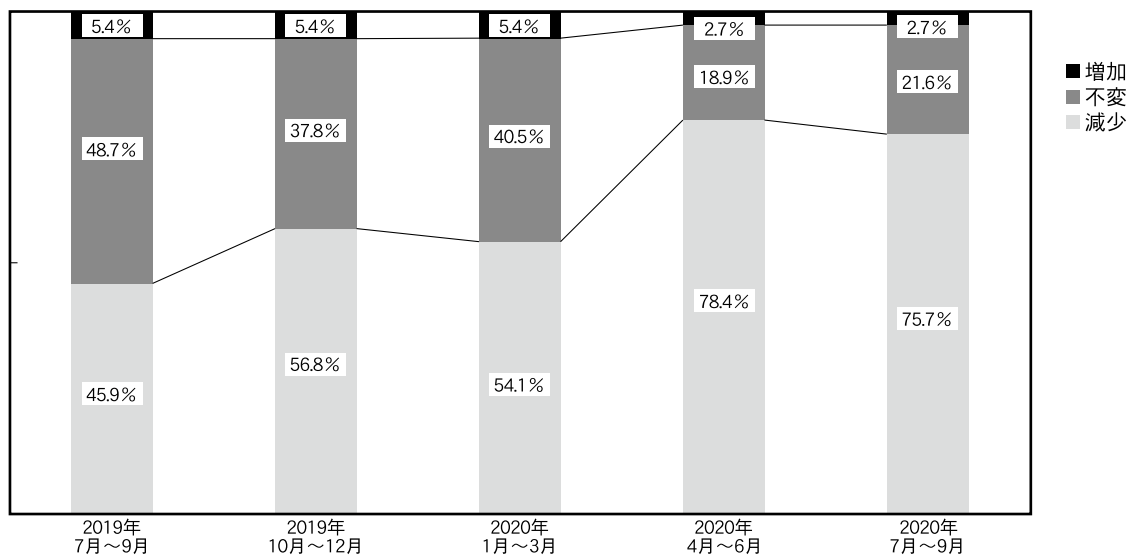
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、2.7%（1社）で前回より変化なし。

「不変」は21.6%（8社）と増加（前期比+1社）、

「減少」は75.7%（28社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数36社（前回34社））

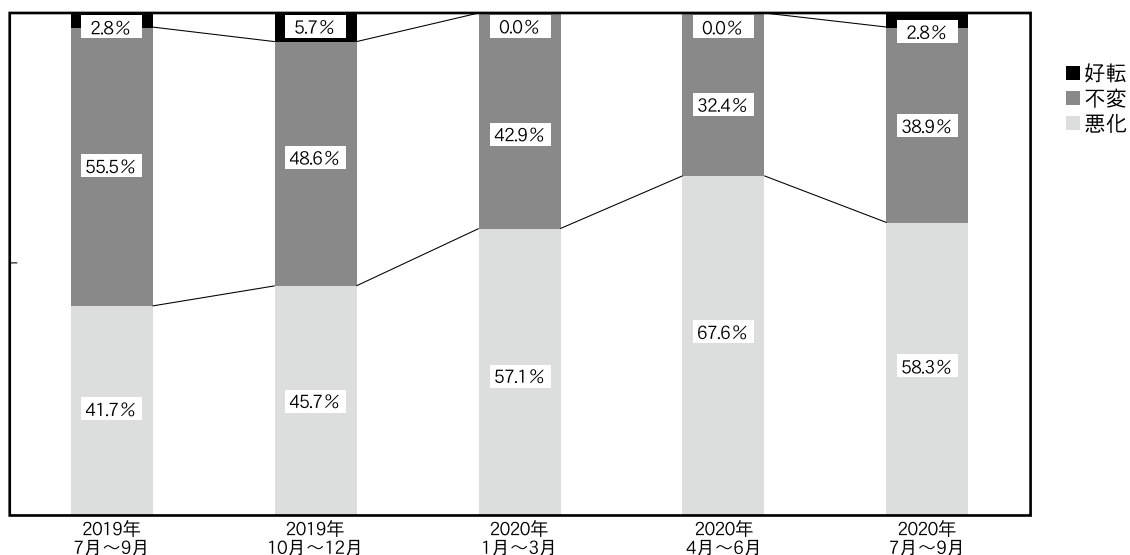
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.8%（1社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は38.9%（14社）と増加（前期比+3社）、

「悪化」は58.3%（21社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

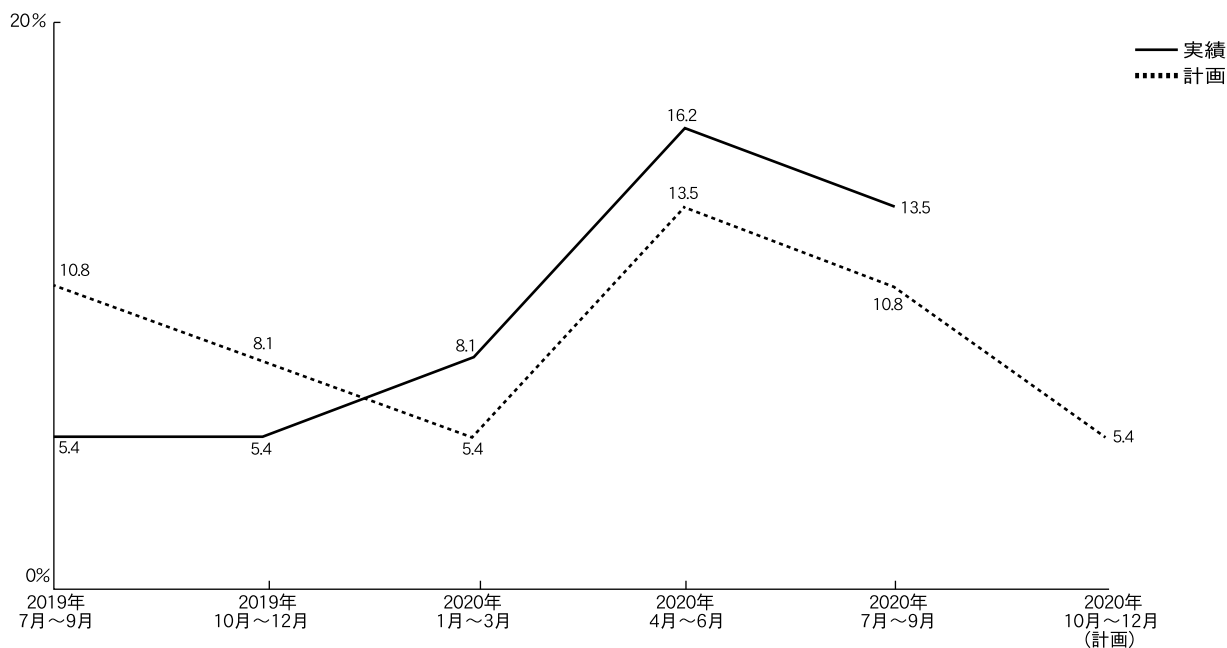


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は13.5%（5社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」「車両・運搬具」「その他」が2件ずつ、「工場建物」が1件であった。

来期の計画については、5.4%（2社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」「その他」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況





④ 経営上の問題点（回答企業数32社）

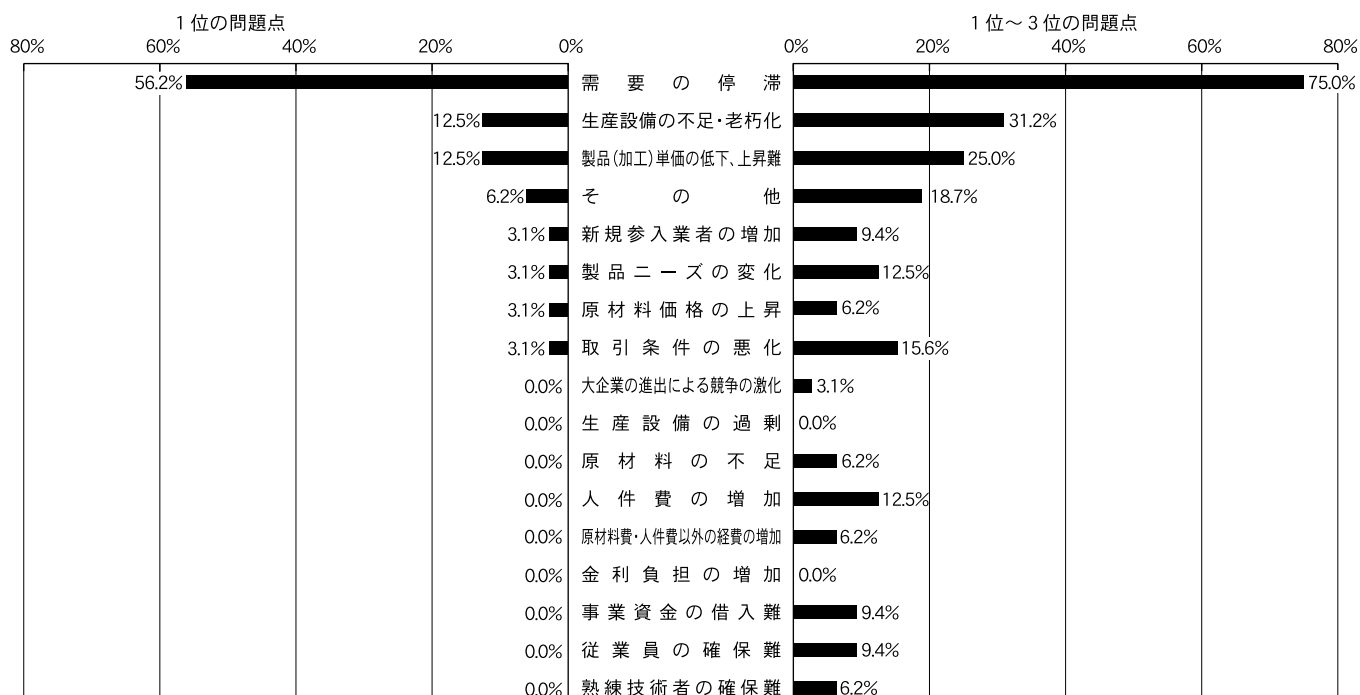
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の56.2%（18社）であり、2番目は、「生産設備の不足・老朽化」と「製品（加工）単価の低下、上昇難」との12.5%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の75.0%（24社）であり、2番目は、「生産設備の不足・老朽化」の31.2%（10社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種            | 企業数 | 構成比(%) |
|---------------|-----|--------|
| 食料品製造業        | 4   | 10.8   |
| 飲料・飼料・たばこ製造業  | 1   | 2.7    |
| 衣服・その他繊維製品製造業 | 0   | 0.0    |
| 印刷・同関連業       | 3   | 8.1    |
| 化学工業          | 1   | 2.7    |
| プラスチック製品製造業   | 4   | 10.8   |
| 金属製品製造業       | 2   | 5.4    |
| 一般機械器具製造業     | 14  | 37.9   |
| 電気機械器具製造業     | 3   | 8.1    |
| 輸送用機械器具製造業    | 0   | 0.0    |
| 精密機械器具製造業     | 1   | 2.7    |
| その他製造業        | 4   | 10.8   |
| 合計            | 37  | 100.0  |

従業員規模別

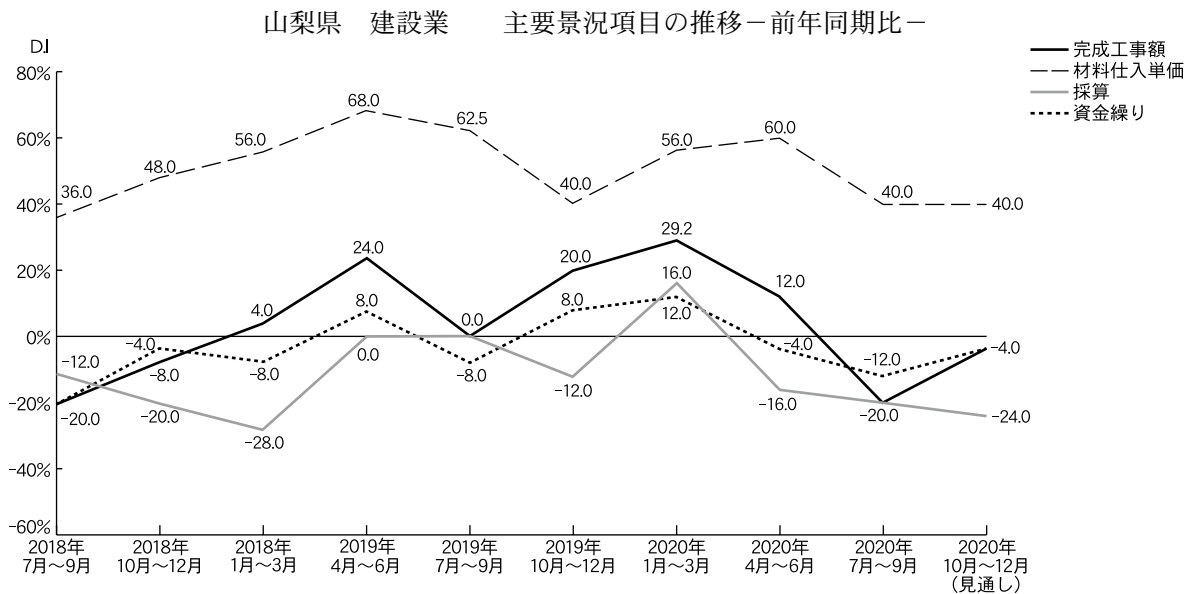
| 従業員数      | 雇用形態   |        | 臨時等含む  |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
|           | 常雇い    |        |        |        |
|           | 企業数(社) | 構成比(%) | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下      | 17     | 46.0   | 15     | 40.6   |
| 3人～5人以下   | 9      | 24.3   | 7      | 18.9   |
| 6人～10人以下  | 6      | 16.2   | 9      | 24.3   |
| 11人～20人以下 | 5      | 13.5   | 6      | 16.2   |
| 合計        | 37     | 100.0  | 37     | 100.0  |

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は▲20.0と前期比で32.0ポイント大幅に悪化した。来期は▲4.0と改善の見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は40.0と前期比20.0ポイント下降（改善）しており、来期も40.0の見通しである。採算D Iは、今期は▲20.0と前期比4.0ポイント悪化しており、来期も▲24.0と悪化する見通し。資金繰りD Iは、今期は▲12.0と前期比8.0ポイント悪化しているものの、来期は▲4.0と改善する見通しである。

今期は材料仕入単価D I以外の全D Iが悪化したものの、来期は採算D Iのみ悪化、材料仕入単価D Iは変化なし、完成工事額、資金繰り両D Iは改善の見通しである。



#### (2) 主な項目で見る業況

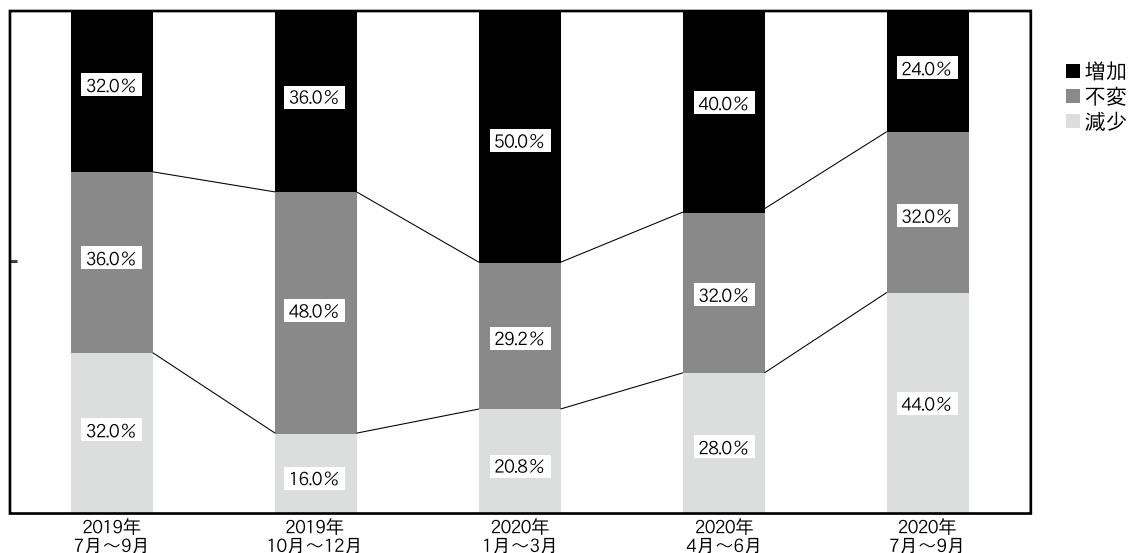
##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、24.0%（6社）と減少（前期比▲4社）している。

「不変」は32.0%（8社）で前回より変化なし。

「減少」は44.0%（11社）と増加（前期比+4社）している。

山梨県 建設業 完成工事額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

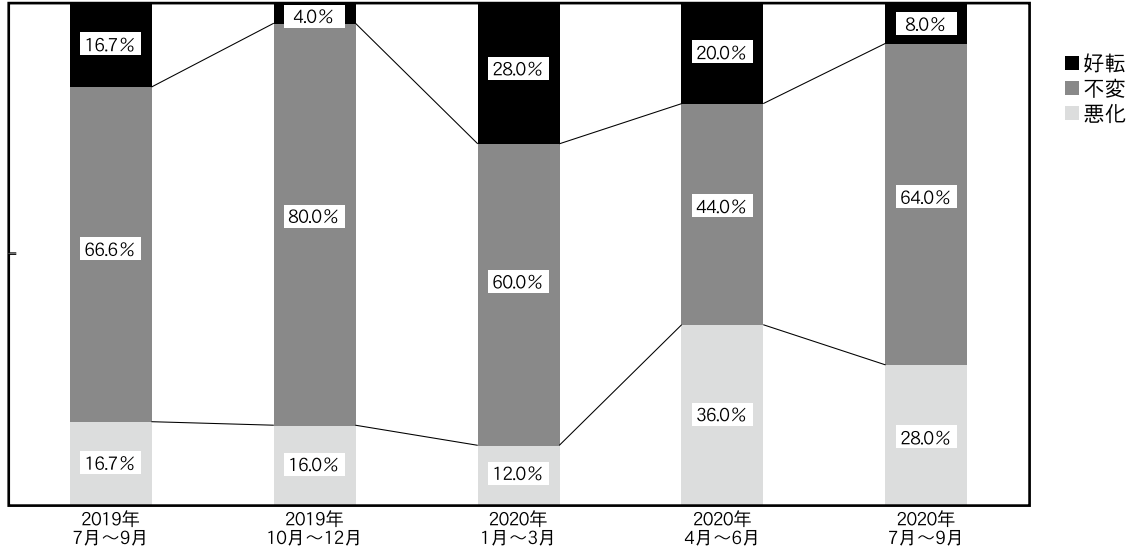
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（2社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は64.0%（16社）と増加（前期比+5社）、

「悪化」は28.0%（7社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

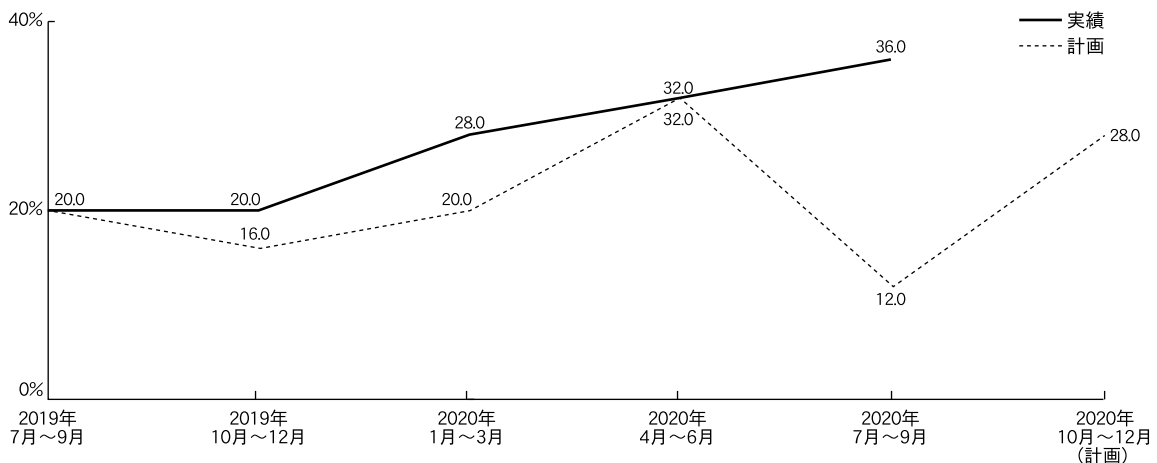


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は36.0%（9社）であった。その設備投資の内容は、「OA機器」「その他」が3件ずつ、「建設機械」「車両・運搬具」が2件ずつであった。

来期の計画については、28.0%（7社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が4件、「建物」「建設機械」「OA機器」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

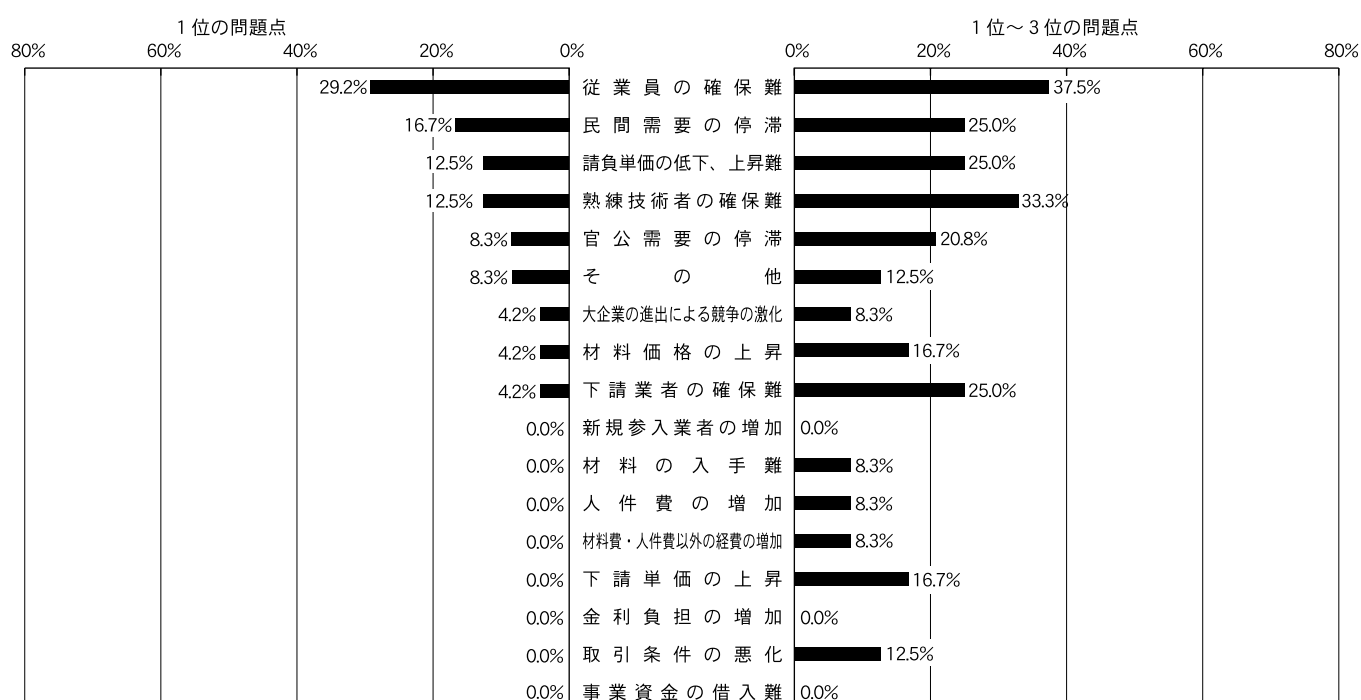
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の29.2%（7社）であり、2番目は、「民間需要の停滞」の16.7%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「従業員の確保難」の37.5%（9社）であり、2番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の33.3%（8社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種    | 企業数 | 構成比(%) |
|-------|-----|--------|
| 総合工事業 | 17  | 68.0   |
| 職別工事業 | 4   | 16.0   |
| 設備工事業 | 4   | 16.0   |
| 合計    | 25  | 100.0  |

従業員規模別

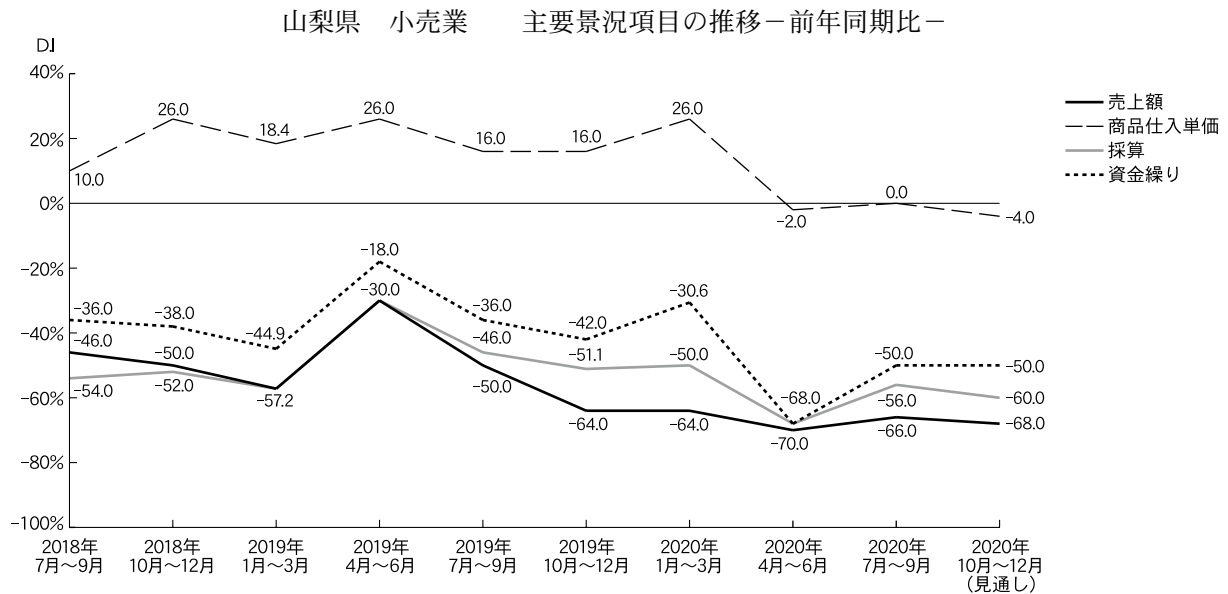
| 従業員数      | 雇用形態 |       | 臨時等含む  |        |
|-----------|------|-------|--------|--------|
|           | 常雇い  |       | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下      | 10   | 40.0  | 8      | 32.0   |
| 3人～5人以下   | 5    | 20.0  | 7      | 28.0   |
| 6人～10人以下  | 4    | 16.0  | 4      | 16.0   |
| 11人～20人以下 | 5    | 20.0  | 5      | 20.0   |
| 21人～50人以下 | 1    | 4.0   | 1      | 4.0    |
| 合計        | 25   | 100.0 | 25     | 100.0  |

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲66.0と前期比4.0ポイント改善しており、来期は▲68.0と悪化する見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は▲0.0と前期比で2.0ポイント上昇（悪化）しており、来期は▲4.0と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲56.0と前期比で12.0ポイント改善しており、来期は▲60.0と悪化の見通し。資金繰りD Iも、今期は▲50.0と前期比で18.0ポイント改善しており、来期は▲50.0と横ばいの見通しである。

今期は、商品仕入単価D Iを除いて改善している。来期は商品仕入単価D Iが改善、資金繰りは横這い、売上額、採算の両D Iは悪化の見通しである。



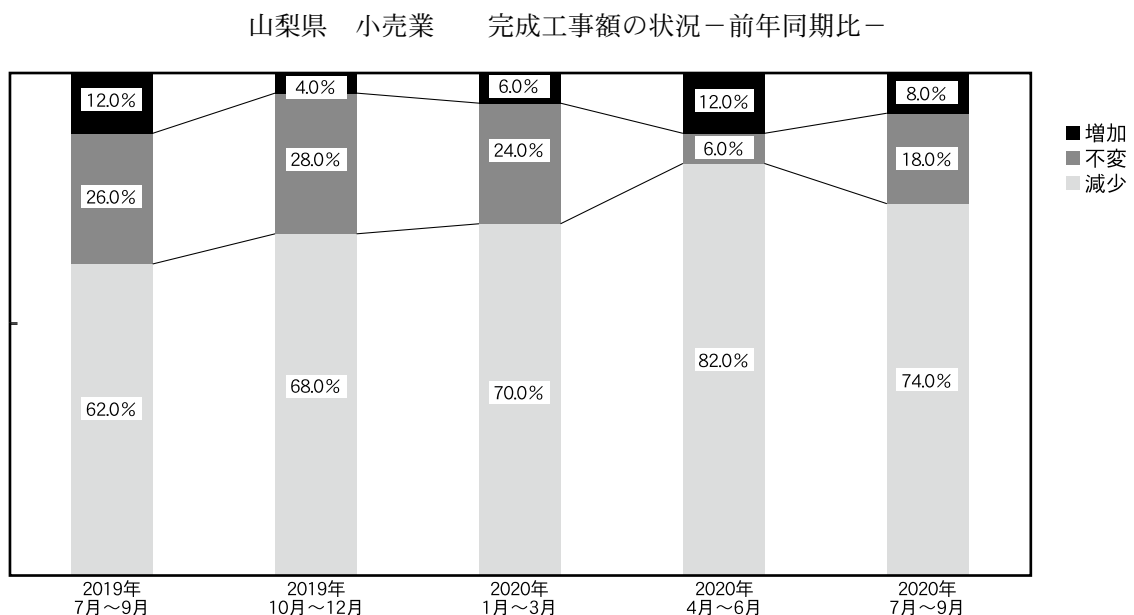
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、8.0%（4社）と増加（前期比▲2社）している。

「不変」は18.0%（9社）と減少（前期比+6社）、

「減少」は74.0%（37社）と増加（前期比▲4社）している。



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数50社））

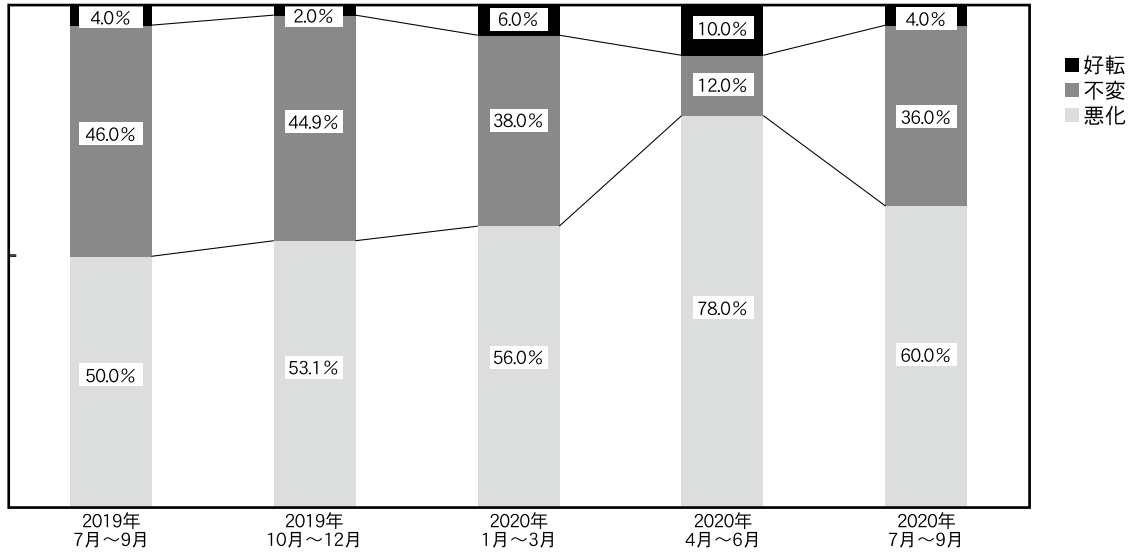
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）と減少（前期比▲3社）している。

「不変」は36.0%（18社）と増加（前期比+12社）、

「悪化」は60.0%（39社）と減少（前期比▲9社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

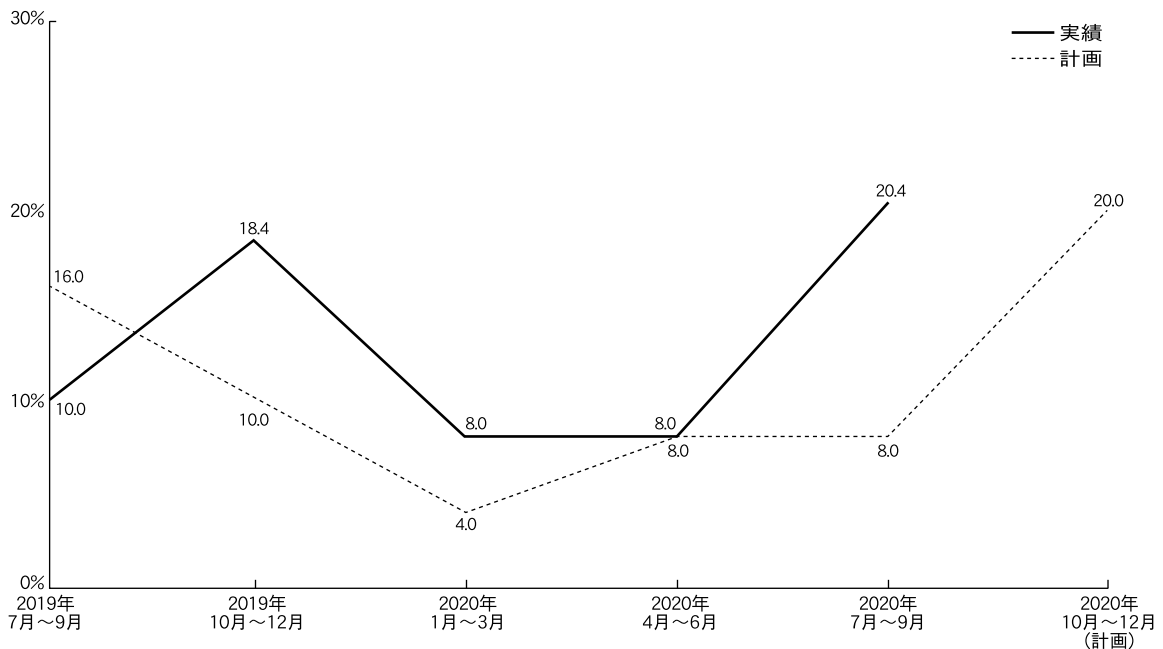


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は20.4%（10社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が4件、「車両・運搬具」「付帯施設」が2件ずつ、「店舗」「販売設備」「OA機器」「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画についても、20.0%（10社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「OA機器」「その他」が3件ずつ、「車両・運搬具」が2件、「土地」「店舗」「付帯施設」「福利厚生施設」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

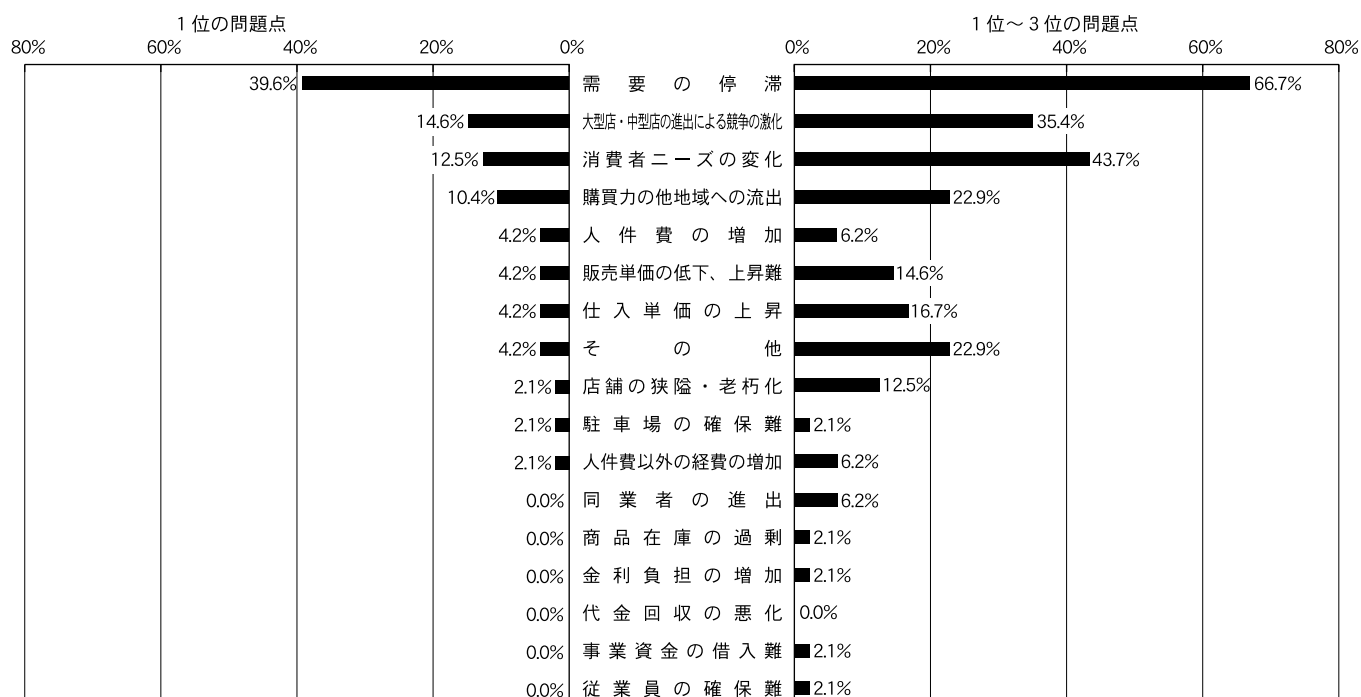
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは「需要の停滞」の39.6%（19社）であり、2番目は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の14.6%（7社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の66.7%（32社）であり、2番目は、「消費者ニーズの変化」の43.7%（21社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種             | 企業数 | 構成比(%) |
|----------------|-----|--------|
| 各種商品小売業        | 0   | 0.0    |
| 織物・衣服・身の回り品小売業 | 10  | 20.0   |
| 飲食物品小売業        | 17  | 34.0   |
| 自動車・自転車小売業     | 2   | 4.0    |
| 家具・建具・じゅう器小売業  | 4   | 8.0    |
| その他小売業         | 17  | 34.0   |
| 合計             | 50  | 100.0  |

従業員規模別

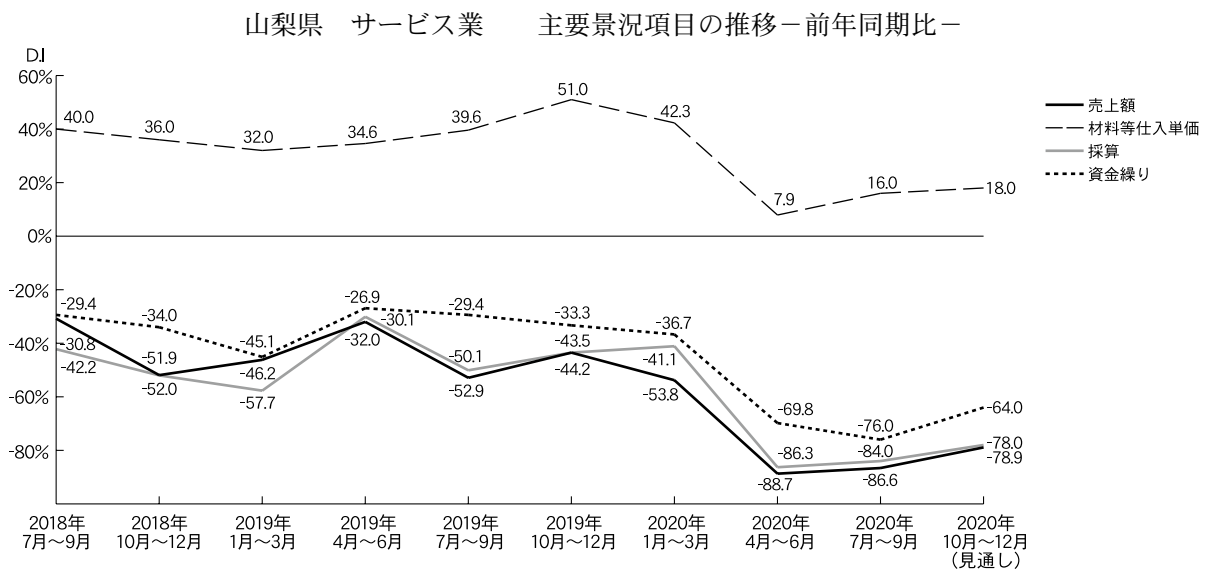
| 従業員数      | 雇用形態   |        | 臨時等含む  |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
|           | 常雇い    | 臨時等含む  | 常雇い    | 臨時等含む  |
|           | 企業数(社) | 構成比(%) | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下      | 47     | 94.0   | 40     | 80.0   |
| 3人～5人以下   | 3      | 6.0    | 10     | 20.0   |
| 6人～10人以下  | 0      | 0.0    | 0      | 0.0    |
| 11人～20人以下 | 0      | 0.0    | 0      | 0.0    |
| 合計        | 50     | 100.0  | 50     | 100.0  |

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲86.6と前期比で2.1ポイント僅かに改善しており、来期も▲78.9と改善の見通しである。材料等仕入単価D Iは、今期は16.0と前期比で8.1ポイント上昇（悪化）しており、来期も18.0と僅かに上昇（悪化）する見通しである。採算D Iは、今期は▲84.0と前期比で2.3ポイント僅かに改善しており、来期も▲78.0と改善の見通しである。資金繰りD Iは、今期▲76.0と前期比で6.2ポイント悪化しているが、来期は▲64.0と改善の見通しである。

今期は売上額D I、採算D Iが改善し、材料等仕入単価D I、資金繰りD Iが悪化した。来期は材料等仕入単価D I以外の全D Iが改善する見通しである。



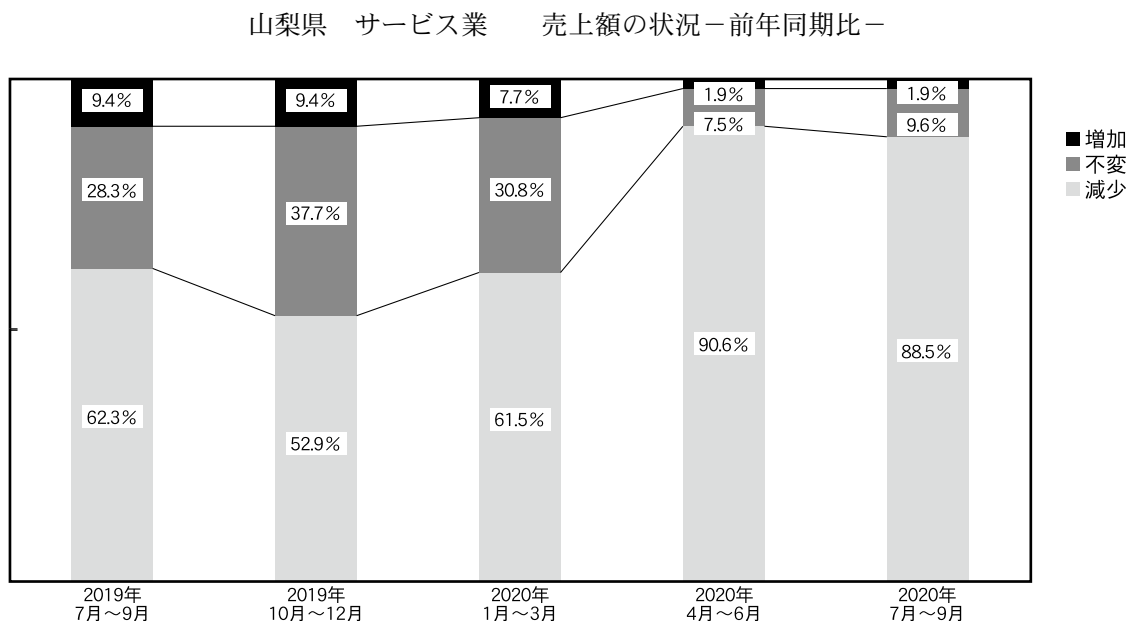
### (2) 主な項目でみる業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数52社（前回53社）））

「増加」と答えた企業の割合は、1.9%（+1社）で前回より変化なし。

「不変」は9.6%（5社）と増加（前期比+1社）、

「減少」は88.5%（46社）と減少（前期比▲2社）している。





② 採算（採算D Iの内容（回答企業数50社（前回51社））

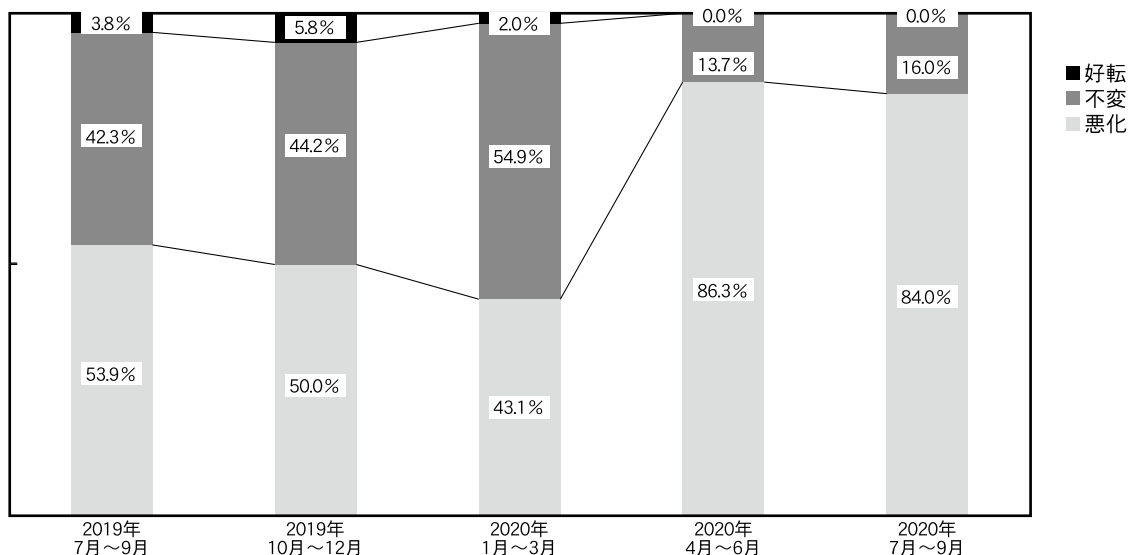
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、0.0%（0社）で前回より変化なし。

「不変」は16.0%（8社）と増加（前期比+1社）、

「悪化」は84.0%（42社）と減少（前期比▲2社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

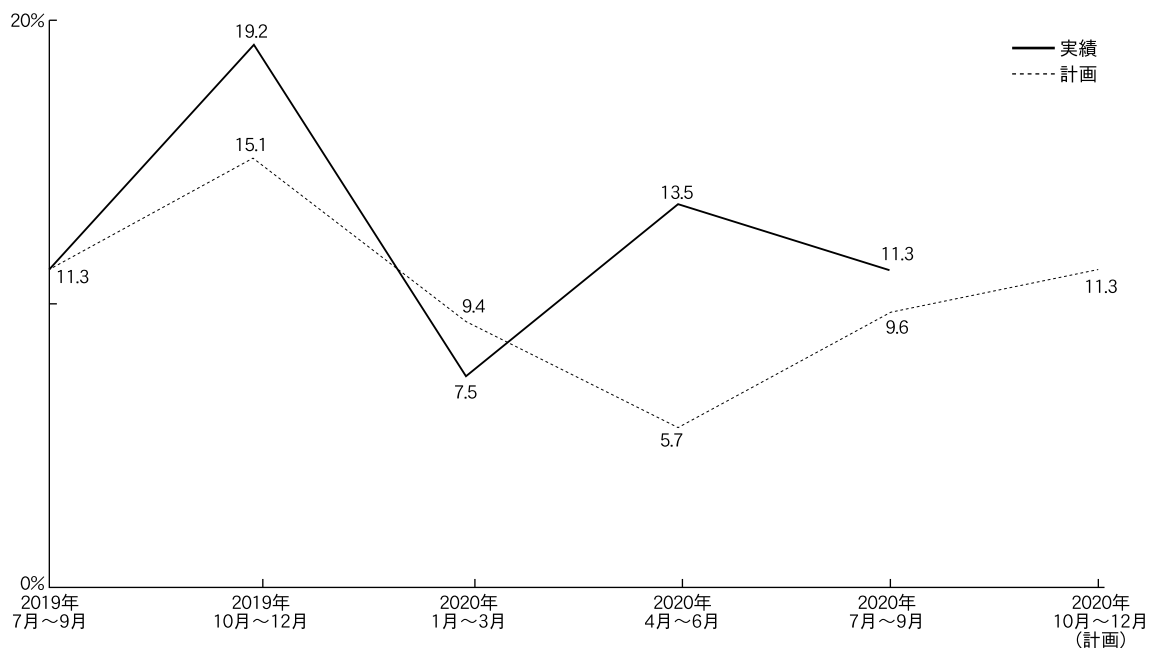


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は11.3%（6社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が3件、「建物」「サービス」が2件ずつ、「付帯施設」が1件であった。

来期の計画についても、11.3%（6社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」「付帯施設」が2件ずつ、「建物」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

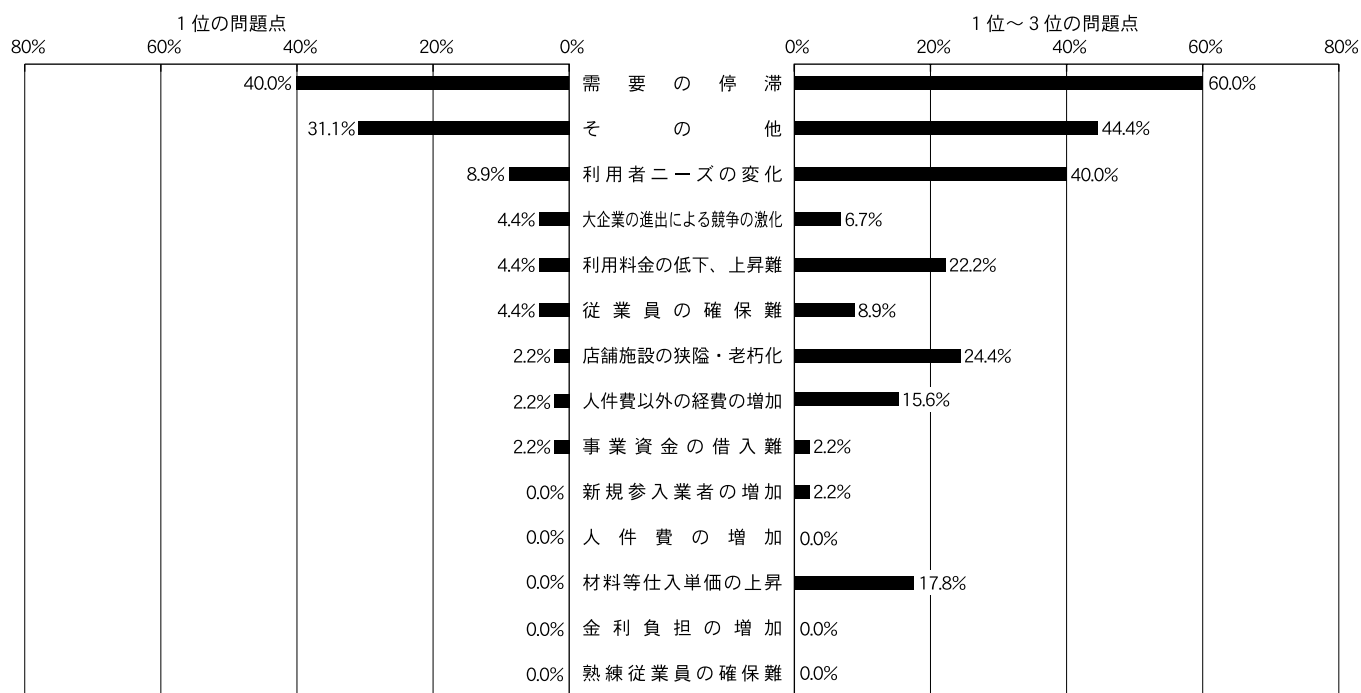
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の40.0%（18社）であり、2番目は、「利用者ニーズの変化」の8.9%（4社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の60.0%（27社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の40.0%（18社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

| 業種           | 企業数 | 構成比(%) |
|--------------|-----|--------|
| 一般飲食店（一般・遊興） | 19  | 35.8   |
| 宿泊業          | 7   | 13.2   |
| 運送業          | 2   | 3.8    |
| 自動車整備業       | 4   | 7.5    |
| 洗濯・理美容業      | 18  | 34.0   |
| その他のサービス業    | 3   | 5.7    |
| 合計           | 53  | 100.0  |

従業員規模別

| 従業員数      | 雇用形態   |        | 臨時等含む  |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
|           | 常雇い    | 臨時等含む  | 常雇い    | 臨時等含む  |
|           | 企業数(社) | 構成比(%) | 企業数(社) | 構成比(%) |
| 2人以下      | 45     | 84.9   | 40     | 75.5   |
| 3人～5人以下   | 8      | 15.1   | 12     | 22.6   |
| 6人～10人以下  | 0      | 0.0    | 1      | 1.9    |
| 11人～20人以下 | 0      | 0.0    | 0      | 0.0    |
| 合計        | 53     | 100.0  | 53     | 100.0  |